

燈 光



令和6年度「五森祭」開催

海上保安学校 管制教官室

海上保安学校では、7月7日(日)に「五森祭」を行い、今年度は恒例のカッターレース、音楽隊・和太鼓班による演奏、練習船みうら体験航海などに加え、公募で集まった計6台のキッチンカーも出店しました。

最高気温38℃という猛暑日ではありましたが、約1,800名の皆さまにご来校いただき、大盛況で幕を閉じました。

今回は、コロナ禍の影響で中止されていた「前夜祭」も復活し、五森祭実行員会と各種イベントの責任者を2年課程である情報システム課程及び管制課程の先輩期の学生が中心となって運営する様子をさまざまな場面で見ることができ、大変嬉しく、頼もしく思えました。

「五森祭」の学生の感想を紹介します。

~~~~~令和6年度「五森祭」を終えて~~~~~

## 【参加学生の感想】

### 「音楽の熱」

海上保安学校 管制課程第六期 大庭 奈穂

雲一つない青空、太陽の光をきらきらと眩く反射する真つ青な海面。舞鶴は、昔から「弁当は忘れても、傘は忘れるな。」という言い伝えがあるほど、天候が不安定で、海上保安学校に入校してから一日中晴れた日など数えるほどしかなかったが、7月7日五森祭は大変天気にも恵まれ、大盛況で幕を閉じた。五森祭終了を告げるアナウンスを聴きながら、無事に終わることができた安心感に胸を撫でおろしたが、長い月日をかけて作り上げてきたものが終わってしまうことに、どこか寂しさも感じた。

「まだ、みんなと熱い音楽がしたい。」

私は、この五森祭で学生音楽隊の責任者を務めた。昨年の秋から学生音楽隊の副隊長に任命されていたため、その延長線上のようなものだった。そのため、「好きなこと」が担当である私とは違い、当日駐車場の整

理をする警備部や、体調不良者の手当にあたる救護部など、経験も知識もないことの責任者として奮闘している同期に申し訳なさがあった。しかし、五森祭が近づくにつれ、自身も「今までの延長線上」ではないことに気づいた。

五森祭で使用する音響機材やパイプ椅子、ひな壇の借用、配置確認、行動計画など、次から次にやらなければならぬことが出てきて、こんなにも猫の手が借りたいたいと思ったのは初めてだった。中でも、重大任務だったのは演奏指導だ。五森祭の一か月前から、毎週土曜日に3時間ほど外部講師による技術指導があるが、平日は指導者がいないため、私が指揮棒を握ることとなった。

中学校の吹奏楽部でトランペットに出会ってから、私は一気に吹奏楽にのめり込んだ。高校は「マーチングがやりたい。」という理由一つで選んだ。「学生時代の思い出は」と聞かれると、どこを切り取っても部活しか思い出せないほど、吹奏楽に青春を捧げてきた。しかし、それはトランペットを吹くのが楽しいのであって、指揮の経験もなく、感じたことを即座に言語化するのが苦手な私にとって、大人数への指導は荷が重かった。

初めて指揮台に立った合奏では、和音に違和感があったも、なんと指導すべきなのか言葉が上手く出でこず、「いいね、いいね。」と流してしまった。そんな中途半端な自分が悔しくて、一生懸命練習してきてくれる仲間にも申し訳なさを感じていた時、1人の学生が「今吹いたところ、和音が気になったからもう1回やってもらってもいい？」と手を挙げた。驚いたが、すごく嬉しかった。それを機に、私は指導することに對する不安やプレッシャーが少しずつなくなった。気になった箇所はもう一度演奏してもらい、何が原因なのか考え、該当楽器だけ演奏してもらう。どこをどのように変えたら改善されるのか、頑張つて言葉にし、言葉で表現できないことは自らトランペットを吹いて音で伝える。そうやって指導を繰り返すうちに、感じたことをすぐ言語化できるようになった。この経験は、管制官を目指すうえで非常に役に立つと思う。

順調かと思われていたが、本番一週間前の合奏で、リズムの間違いに音間違ひ。このままではお客さんに聞かせられない、そう焦っていた私はこの日初めて厳しい言葉を投げってしまった。個人練習が足りない。合奏ではみんな吹き方やイメージを合わせる練習がしたいのに、今の合奏は個人のミスが多すぎて個人練習

でもできるような練習になっている。1日5分でもいいから楽譜を見る時間を作ってほしい。そこまで言って後悔した。本番一週間前まで間違いに気づかなかったのは、指導者である私なのだ。楽譜の読み方が分からない学生が、質問しやすい環境を作るのも指導者の役目だ。「お客さんに聞かせられない」と焦るのも違う。吹奏楽というのは、演奏者側が楽しまなければ、聞いてくれる側も楽しめない。リズム間違いや音間違いをなくす本筋の目的は、演奏者が自信をもって演奏するためだ。楽器は素直で、演奏者が縮こまっていたは音が不安そうになるし、演奏者が自信をもって演奏すれば、生き生きとした音色になる。ただ厳しい言葉をかけるだけでなく、どのような意図があるのかまで伝えるべきだった。「私が厳しく言ってしまったせいで、みんな音楽が嫌になってしまったかな。」そう不安に思いながら、自由参加の夜の合奏練習に向かうと、そこには今までで一番多い人数が集まっていた。それぞれ国家試験を間近に控えていたり、五森祭の実行委員で忙しかったりと時間がない中、そして夕方の練習で厳しい言葉をかけてしまったにもかかわらず、集まってくれたことが本当に嬉しくて、涙が出そうになった。そのときの合奏は、心の底から楽しかった。何より、



写真1 演奏会場の風景

仲間たちが笑顔で楽しそうに演奏しているのが嬉しかった。そうだ、これだ！これが音楽だ！と心の中で何度もガッツポーズをとった。音楽は極めればどこまでも深く、和音を正確に合わせようとすれば、メジャーコード、マイナーコード云々と気が遠くなるような作業が必要だ。しかし、音楽に一番大事なことは「楽しむこと」だ。みんなが楽しんでるから、細かく合わせようとせずとも自然と音色が合う。生き生きとした

音色同士が混じりあっているから、元氣な音楽になる。そのことを実感した、とてもいい合奏だった。

そして迎えた五森祭当日。アイロンをかけてきちんとした白い制服に身を包んだ仲間たちは皆いい顔をしていて、早く演奏したい！私たちの生き生きとした演





写真2 指揮棒を握る（筆者）

客さんを前にして、楽しくて、楽しくて、興奮していた。オープニングが華やかに始まると、あつという間にアンコールが終わり、午前の部が終演した。演奏者も、お客さんも一つになった熱い演奏だった。そんな大興奮の余韻に浸って迎えた午後

奏のエネルギーでお客さんと一緒に熱くなりたい！と本番がすぐ待ち遠しかった。本番前のチューニングで近くにいた仲間たちと円陣も組んで気合十分。さあ、行こう！と列になって入場し、初めて客席を見て、驚いた。そこには会場から溢れんばかりのお客さんが、端から端までびっしりと演奏を待ち構えていたのだ。吹奏楽を始めて八年間、本番前はいつも興奮よりも緊張が勝っていた。しかし、この日は違った。沢山のお



写真3 笑顔で司会をする（筆者）

かない。司会原稿は、お客さんの方を見ながら言えるように、大体は覚えている。五森祭の前日から風邪をひいてしまい、声が掠れて十分には出ないが、声は気合で何とかなる。よし、ピンチはチャンス、大丈夫、大丈夫。と自分に言い聞かせている間に、オープニング曲が終わり、司

の部。私は大きなミスを犯してしまった。なんと、午前の部終演後そのままステージに置いていたはずのマイクと司会原稿がなくなっていたのだ。午前の部と午後の部の間では、緞帳を上げる。きつと、その関係でマイクと司会原稿が移動されたのだと思われるが、午後の部開演前に、それらが定位置にあるかどうか確認を怠ってしまった。午後の部が開演し、入場して席に着いたときに気づいたのではもう遅い。何とかするし

会の出番となった。「管制官が堂々とした声で、自信をもって情報提供しなければ、操船者は不安になってしまう。」日頃からそのように教官に教わった甲斐あって、堂々とした声で司会をやり通せたため、なんとあの会場でハプニングに気づいていたのは、私の母だけだった。演奏している間にも、記憶の中にある原稿を必死に思い起こしていたため、司会を挟まず二曲続けて演奏すべきところで、誤って司会を入れてしまうなど、また大きなミスを犯してしまったが、今となればそれも思い出だ。日頃の管制業務の訓練が、意外なところで役に立った瞬間だった。

カッターレース表彰式での演奏も終え、片付け作業に取り掛かりながら、何とかすべてやり切ったという達成感や安心感とともに、「まだ、もう少し長く、みんなと熱い音楽がしたい。」と、五森祭が終わってしまいうことに寂しさも感じた。五森祭を迎えるまで楽しいことばかりではなかった。自身の指導力のなさに悔しさを感じて、入眠前にひとり反省会の日々だった。それでも、楽しい本番を迎えることができたのは、こんな私を信じてついてきてくれた仲間がいたからだ。大好きな吹奏楽で、毎日頭を悩ませながら試行錯誤して、ついてきてくれる仲間がいることは、本当に幸せ

なのだと感じた。

音楽を通じて出会えた仲間たち、そして心が動いた演奏の記憶を大切に、いつまでも音楽を続けたい。



写真 4 学生音楽隊の仲間たち

# 能登半島被災・復旧・支援状況

七尾海上保安部

## いざ！ 舢倉島

～能登半島地震被災後巡視艇

はまゆき舢倉島初入港～



舢倉島は、能登半島の輪島港から北方約48キロメートルに浮かぶ、東西に2キロメートル、南北に1キロメートル、海面からの最高点12.5メートルの平板な形をした有人国境離島です。

島の主産業は漁業で、刺し網漁業の他、国指定重要無形民俗文化財に指定された海女漁があります。

島の住民は、出漁期間には200人ほど、冬期間は30人ほどがいます。

この舢倉島も元旦に発生した能登半島地震により大きな被害を受けました。

地震当時、住民のほとんどが輪島市内の親



写真1 舢倉島津波被害状況



写真2 舢倉島津波被害状況2

戚宅で過ごしており、島に残っていた住民3人は全員高台に避難して無事でした。

島内は津波により発電所が壊れ停電となり、通信手段（携帯電話等）も途絶、港内は漂流物や漁網が散乱し、長い間航空機しか渡海手段がありませんでした。

2月になって新潟航空基地所属MH機により渡海、舢倉島灯台のみ仮灯火（太陽電池式LED）を設置し仮復旧が出来ましたが、島内は発電所の復旧のメドが立たず、依然として停電中、船舶気象通報（風向・風

速・気圧・波高の提供)の復旧には至りませんでした。

なお、この間も地元輪島漁協はもとより、遠く新潟県上越地方の漁業従事者からも、船舶気象通報の早期復旧を望む声が多数寄せられ、影響の大きさを感じました。

その後半年を経てようやく港内の障害物の除去が進み、舳倉島発電所も復旧、これに伴い通信サービスも復旧したことから、舳倉島内の被害状況調査と灯台及び船舶気象通報等の復旧を行うべく、巡視艇はまゆきによる渡海実施に向け調整を開始しました。

安全な渡海を可能とすべく、交通課長を中心に漁協や地元海事関係者から港内の水深や岸壁等の状況を聞き取りつつ、はまゆき船長と綿密に打ち合わせを行い、慎重に慎重を重ね7月12日(金)、舳倉島に震災後初入港しました。

復旧作業は滞在時間の関係から短時間で効率的に行うべく周到に準備しておりましたが、灯台は残念ながら復旧に至らず次回持ち越しとなりましたが、かつて船舶気象通報のテレホンサービスで年間利用件数120万件(当時日本一)を誇った舳倉島灯台の船舶気象通

報を最優先で復旧させるべく注力し、無事復旧させることが出来ました。

後日、復旧に係る照会等受けていた上越海上保安署から、復旧について各所連絡したところ、今まで漁に出る判断や港に戻るタイミングを図るのに舳倉島の気象が分からず大変苦慮していたが、これでやっと安心して漁に出られる、とても助かったとの声が寄せられたとのこと、復旧作業にあたった職員一同報われた思いとなりました。



写真3 いざ! 舳倉島



写真4 無事入港





写真5 船倉島灯台



写真6 通電開始、北陸電力さん感謝！



写真7 機器点検中

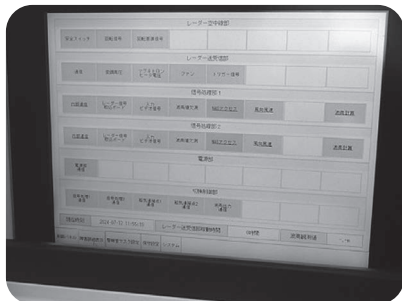


写真8 システムスタート



写真9 岸壁に積み上げられた災害ごみ



写真10 今もお津波の傷跡が残る住宅

一方で島内は各種復旧作業に従事する作業員と発電施設を管理する職員の他には住民が戻っていません。

また、本土との定期船の運航は輪島港が大幅に隆起した影響から再開が見通せない状況にあるほか、今夏、海女漁も見送られるなど、本格復旧には程遠い状況です。

七尾海上保安部ではこれからも様々な形での協力を続け、また息の長い支援等を通じて一日も早い復旧・復興につなげゆく活動を展開してゆきます。



写真1 震災により隆起し海岸の陸地が大幅に拡大

## 漁港の復旧に向けて 震災により隆起した 防波堤灯台の一時休止



元日に発生した能登半島地震は、能登半島の北西部を中心に地盤が大きく隆起しました。

隆起は最大で4メートルを超え、国内の地震では観測史上最大とも言われています。

このような状況下、隆起が著しい各被災漁港は、水深が浅くなったり干上がったりと、とても船が出せる状況になく、現在も操業が出来なくなっています。

現在、国、県、市町



写真2 震災前の皆月漁港（R5.11.1撮影）



写真3 震災後の皆月漁港（R6.7.26撮影）

村が連携して復旧・復興ビジョンの策定のほか、短期的な応急復旧等懸命な作業が続いているところです。

その被災した漁港のうち、隆起が著しく港内が完全に干上がったしまった皆月漁港に存在する「皆月港第一防波堤灯台」について、漁港の機能が失われ安全に入港できない現状から、7月26日、一時休止（消灯）の措置を行いました。

「おらが灯台」として地元の誇りである灯台の一時休止（消灯）措置を行うにあたり、被災した地元漁業者等の気持ちを考えると誠



写真4 皆月港第一防波堤灯台

に心苦しいところではありましたが、区長をはじめとする地元住民との対話を通じて理解を深め、港再建への第一歩としての取り組みであることを確認し一時休止に至りました。

今後と同様に隆起した港にある防波堤灯台についても一時休止の措置を進めるべく順次調整を図ることとしておりますが、引き続き地元へ寄り添いつつ息の長い復興支援に努めることとしております。

## 復興の「のろし」を上げる！

～見ぬ友と心結ぶ  
のろしリレー in 珠洲市狼煙町～



石川県能登地方は昨年5月の地震に続き、今年のも



写真1 珠洲市狼煙町の現況（7月27日撮影）発災時から時間が止まったまま…

日に発生した能登半島地震により甚大な被害に見舞われ、現在も復旧の途上にあります。

緑剛埼灯台のある珠洲市狼煙町も家屋の倒壊のほか、港の隆起など大きな被害を受け、漁業のほか同灯台を中心とした観光業等に打撃を与えています。

そのような中、全国各地で次々にのろしを上げる「のろしリレー」実行委員会（広島市安芸区）から、狼煙町の区長あて、「のろしリレー」として復興の「のろし」を上げてみませんか？との呼びかけがありました。

狼煙町は、その昔から船のために「のろし」を上げていたといういわれを持つ場所、同実行委員会は「狼煙町」の存在を以前から認識していたところ、今回の震災を受け復興支援に何かできないかと声をかけたよ





写真2 在りし日の緑剛埼灯台レンズ

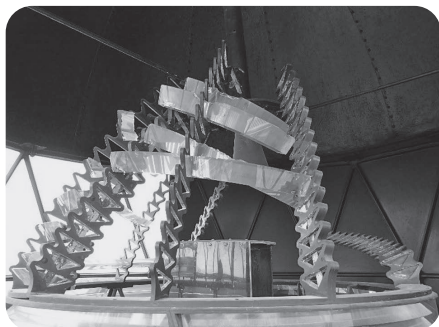


写真3 被災後の同灯台レンズ（上部レンズ脱落）

のろしを復興のろしをあげよう！

見ぬなを忘るな  
緑剛埼灯台

2024 7.27 sat. 9:30 開会  
10:00 のろし上げ  
12:00 閉会

会場 緑剛埼灯台 珠洲市狼煙町

飯田高校吹奏楽部×IVUSA (学生ボランティア団体)による演奏  
出演 出店 咖啡・お菓子 (三田内康子サントアン) たこ焼き (NPO法人レスキューアシスト)  
おやき (長野県小川村あったかおやきプロジェクト) アイス (グリーンコープ生協ふくおか)  
GPSアート「返信アート」(EJHIONE TEAM大作展)

見ぬ友と心結ぶのろしレー実行委員会 (広島市安芸区) 狼煙町 明日の町づくり推進協議会

写真4 イベント案内



写真5 復興メッセージを掲示

うです。

狼煙町では区長をはじめとする有志が立ち上がり、地元から「狼煙の灯台」と親しみを込めて呼ばれている緑剛埼灯台を中心に、前面の公園で「のろし」を上げることとなり、七尾海上保安部へも声かけがありました。

一方で緑剛埼灯台は、今回の震災で明治16年から現役で活躍する大型レンズ（二等不動レンズ）が大きく壊れ、灯台自体にも少なからず影響があることなどから、とても一般公開は出来ない状況の中で何ができるのかと頭



写真6 MH790によるローパス





写真7 勢いよく「のろし」が上がる



写真8 復興の「のろし」を見守る参加者



写真9 震災に負けないぞ！

を悩ませましたが、出来ることは何でもやろう！と復興支援のため協力することとなりました。

本イベントの開催にあたっては、初め

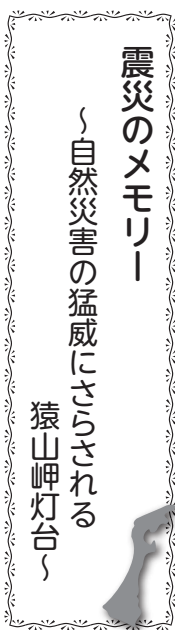
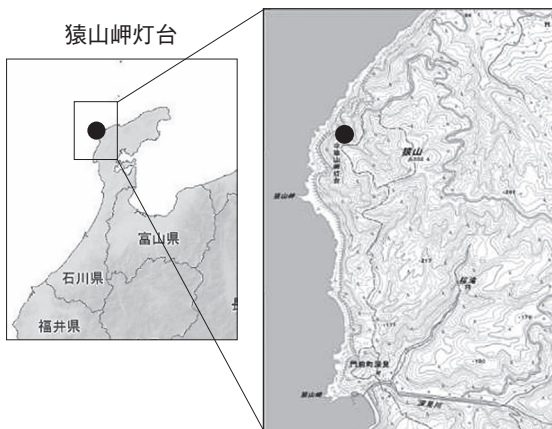
は地元有志によるものであったところ、支援の輪が徐々に広がり、全国津々浦々から出店希望のボランティアが集ったほか、イベントを盛り上げるべく高校生や大学生等のボランティアが集う活気あるイベントとなりました。

七尾海上保安部としても何かイベントを盛り上げられないか考える中で、急遽新潟潟航空基地所属MH機に来てもらえるようお願いしたところ、タイミングよく能登方面に来る予定があるとのことから、快く引き受けて頂きました。（感謝！）

当日は梅雨時期にも関わらず晴れとなり、うだるような暑さの中で開催され、若者の熱気とともに震災以降明るい話題が少ない現地被災者を元気づけるイベントとなりました。

後日、主催者からMH機の来訪等のほかイベントの協力について大変感謝されました。

七尾海上保安部では引き続き息の長い支援活動を展開していきます。



能登半島の北西方に所在する猿山岬灯台は、前回平成19年（2007年）3月25日に発生した能登半島地震において被災、大型レンズが破損するも新たな光源の導入により復活しておりましたが、本年元日に発生した能登半島地震では、前回とは比べものにならないほどの甚大な被害を受け、建物や巡回路など、本格的な復旧には未だ手の付けられない事態となっています。



写真1 在りし日の猿山岬灯台



写真2 震災前～小学生による猿山岬灯台見学も…



写真3 震災後～灯台運用舎等半壊



写真4 震災後～運用舎内部散乱



写真5 震災前～春の雪割草祭り一般公開



写真6 震災後～灯台への通路が崩壊



写真7-1 震災後～猿山岬崖崩落



写真7-2 震災後～猿山岬崖崩落



写真8 豪雨による新たな土砂崩れ



写真8 豪雨による新たな土砂崩れ

もともと能登半島は脆弱な地盤が多く、震災の影響により更に地盤が緩み、少しの雨でも大きな土砂崩れを誘発する可能性が指摘されていたところ、7月24日に「土砂災害警戒情報」が発表されるほどの豪雨が発生し、猿山岬灯台近くの集落でも土砂崩れが発生したとの情報がありました。

このため、天候の回復を待って現場確認を行ったところ、震災後でも辛うじて灯台まで行けた巡回路が、豪雨による土砂崩れにより幾つか





写真10 豪雨により巡回路崩壊



写真11 豪雨により電柱倒壊



写真12 豪雨による土砂崩れ



写真13 慎重な運転が求められる巡回路

の個所で崩壊し、灯台まで進出が出来ない状況となりました。

更に、灯台付近で高圧の電気が通っている電柱が倒壊したため、地元輪島市門前町で頻繁に停電が発生し、病院など公共施設に多大な影響を与えていることが判明しました。

北陸電力送配電は、巡回路が無くなり仮復旧もできないとして、倒壊した電柱への送電を停止することとなり、やむを得ず猿山岬灯台への送電も停止されることとなりました。

震災後一旦は復旧していた猿山岬灯台の灯火は、送電を停止してから一週間弱の間蓄電池により点灯していましたが、8月4日再び消灯しました。

七尾海上保安部管内では、この猿山岬灯台のほか、震災等により甚大な被害のあった航路標識が幾つかありますが、以後も数々の自然災害に挫けることなく、管区本部等と連携しながら復旧作業に尽力すべく肅々と進んでいきます。





# 恵山岬灯台での菓子まき 、大泉潤 函館市長も灯台好き、

函館海上保安部交通課



写真 1 恵山岬灯台一般公開



写真 2 旧滞在舎での写真パネル展示



写真 3 ステージでの海難防止啓発と学生募集 1



写真 4 ステージでの海難防止啓発と学生募集 2

函館海上保安部が管理する恵山岬灯台（函館市恵山岬町）は、津軽海峡の太平洋側玄関口に位置し風光明媚な観光地にあります。

本年2月に航路標識協力団体「恵山岬灯台活用協議

会（代表：北條 壮史氏）も指定され、7月27日（土）に同協議会主催によるイベント「灯台ホリデーin恵山岬灯台公園」が開催されました。

このイベントでは、地元海産物の販売、キッチンカ



写真 6 「大泉潤」函館市長も参加した灯  
台菓子まき 2



写真 5 「大泉潤」函館市長も参加した灯  
台菓子まき 1



ーの出店、カラオケ大会や抽選会などのステージショ  
ーとともに灯台の一般公開が行われました。  
函館海上保安部では、同協議会と連携して認知度を  
向上するために恵山岬灯台の紹介、灯台写真パネル展、  
海難防止啓発、学生募集活動を実施しています。  
イベント終盤には、恵山岬灯台踊り場からの「菓子  
まき」が行われ、これに「大泉潤」函館市長も参加  
し、小雨の降る中でありましたが、たくさんのお客様  
が盛り上がりました。

この菓子まきの盛況ぶりは、大  
泉函館市長のX(旧Twitter)  
r)にも動画とともに投稿されて  
いますのでご覧いただければ幸い  
です。

大泉函館市長のXの恵山岬灯台菓  
子まき動画

[https://x.com/oizumi\\_jun/](https://x.com/oizumi_jun/)  
status/1817177682045739346

# やってきました「海の日」 塩屋埼灯台

風物詩 かつおノボリ & "NEW" 夏休み企画 灯台ナイトウォーク

福島海上保安部・とよまの灯台倶楽部

皆さま、お世話になります。

「燈光」令和6年3月号は読んでいただけましたでしょうか??

今年もやってまいりました。福島県いわき市のシンボルとして地域に親しまれる「塩屋埼灯台」の今年度1回目の寄稿となります。「毎年、楽しみに読ませていただいております。今年もイベントを実施されると聞いて、寄稿お待ちしております。（燈光会 第二事



写真1 “持っている男”

業部Sより)」と?ファン?からも、お便りをいただき、これは期待に応えるしかありません。今年は、例の天候を左右する力を持った「持っている男」によって、行事は無事に行えるのか!?行えないのか!?どうなんだい!?

では、本題に入って参ります。

〈令和6年7月10日

とよまの灯台倶楽部 定例会にて〉

今年も「海の日」のイベントに向けて張り切って、主催者側出席者の確認と役割分担の最終確認を行っていました。

そして、大切なお天気は、一週間ほど雲と傘マークが続いている。おそらく中止であろう。天気予報となっていました。普通であれば、「ざわざわざわ」と、定例会の話題は中止するか開催するか…ひと騒ぎ起きるようなのですが、とよまの灯台倶楽部では、これは



当然のことながら想定内でありますから、「あとは日頃の何とかがつてヤツが、灯台倶楽部の部員と持っている男、部長」とどちらが勝つかってところでしょうかね」で幕を閉じた定例会でしたが、この時、おおよその皆さんの予想は「勝てるわけがない…」という雰囲気でした。

〈令和6年7月13日

かつおヨ!! 揚げられ! 泳げ! 元氣よく!!〉

全国の皆さんに知れ渡ってきたはずの、塩屋埼灯台の、かつおのぼりは、毎年少しずつ工夫がなされていることにお気づきでしょうか? (とよまの灯台倶楽部の部長が工夫していること(小細工とも努力ともいう)に気づいて欲しくて特出ししていることは秘密ではありますが)

令和4年度は、シークレットサービスで、かつおに紛れ込ませて、うなぎを揚げ、令和5年度は、ミニコンサートとともに華々しく揚げたところでした。今年はどうでしょうか。

実は、とよまの灯台倶楽部の中でも、部長の工夫(何度とも言いますが、小細工とも努力ともいう)に気付かなかったと言われています。写真ではなかなか分かり

ませんので、ぜひ、とよまの灯台倶楽部のSNSをご覧いただきたいところではございますが、よくよく見れば、

入口に1匹  
受窓口に2匹  
灯台に5匹

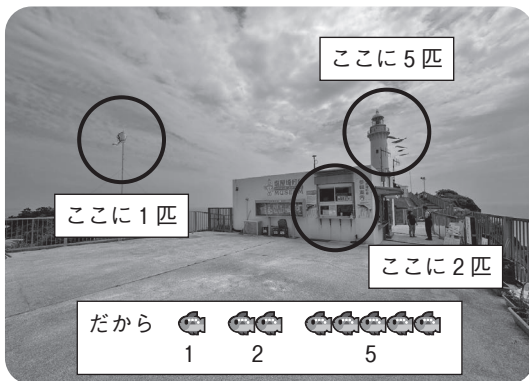


写真2 “かつおのぼり” 125周年の配置!

これが何を意味していたのでしょうか! はい!! ドラムロールお願いします。(ドゥルルル

ル……) そうですね!! 今年は塩屋埼灯台125周年の年になります! それに気づいた来場者の方は居たのか居ないのか!? : 部長が一生懸命説明していましたので、気付いた方は居ました。新聞の記事にもなりました。

(記者さん気付かなかったそうですが。) 普通は気が付かないようですよ。密かにやって気付いて欲しいという我が倶楽部の部長の想いは、なかなか届きません。

それにしても、我が倶楽部の部長から飛び出してくるアイディアは無限ですね。灯台倶楽部も引き続き、そのアイディア溢れる頭脳をもって、無限の彼方へ♪ 導いて下さいね。

次は灯台ナイトウォークの話題となりますが……え? お天気のことに触れていないけれど、どうしたのですかっておっしゃいました? : それで、晴れてはいませんでした、曇りで普通に作業が出来てしまっただけ、全くもって「ネタ」にならなかったのです。どうして、○年連続で雨のため中止に! : という見出しを期待していたのに、とてもとっても残念です。

今年の梅雨のお天気は、全国的にも同じような天気だったかと思えます。それなりに予報はできていたのですが、突然の雷雨を経験された方は多かったのではないのでしょうか。この「かつおのぼり」も、3日の間、

朝から夕方まで掲揚していましたが、何度か揚げたり降ろしたり、早めに降ろしたり、早めに揚げたりとバタバタしておりました。ただ、総括として言えたのは、灯台倶楽部の部員の日頃の行いが良かったおかげで、3日とも、無事にイベントとして成立し、「かつおのぼり」は揚げられることが出来ましたとさ。。。

これって、良かったと思いますけれど、どうしてでしょうか? なんだか物足りなくて、こんな感じの文章になってしまっています。

〈令和6年7月14日

灯台ナイトウォーク! (主催者側も楽しむ)〉

🔪 それでは朝の気象担当は、とよまの灯台倶楽部の小野部長です。

(部長) 🔪 今のところ、何とかもちそうな気がしま〜す!

🔪 ありがとうございます。って、夕方だめじゃないですか! ああ、気象担当の言っていること本当かなあ……

不安に襲われながら、それでも、この程度の雨なら、何とか開催できるような気がすると思いい、準備に入ります。当然、朝から「かつおのぼり」を掲揚するため、



写真3 お天気その1 (とある天気アプリより)

夕方だけの天気を心配するのではなく、朝からの天気も心配しなければなりません。  
イベントの開催可否について、問い合わせがあっても、今のところはお天気が持ちそうなので、朝から、かつおのぼりは掲揚しています。夕方の灯台ナイトウォークは天気次第で今時点では何とも言えません。とご案内し、あとは、祈るだけ…。

💡 それでは夕方の気象担当は、とよまの灯台倶楽部の小野部長です。

（部長）💡 …おかしいですね。天気アプリの予報だと雨です。

💡 …最初からでは？さすがよく当たる天気アプリですね…。

画面では、部長のスマートフォンでの充電容量が100%から75%に下がる一方で、雨の降水確率はドンドン上昇し、イベ



写真4 お天気その2 (とある天気アプリより)

ント時間中は100%降ることが間違いない、そして、雨の強さもドンドン上昇する状況から、雷や大雨の可能性を考慮して、イベント中止となった後の片付けにも安全にやれるよう準備を中断、いったん片付けを済まして様子を伺うこととなりました。  
開催30分前まで、何とか粘ってみましたが、やはり天気の悪化は予報が当たり、…雨が…きました。ネタになります。部長、ありがとうございます。  
雨の降り方の表現を分かりやすくするには、どのようにすれば良いでしょうか。  
…パラパラ、サー、ザーザー、ゴォー…。  
よくある、お天気アプリの雨の表現となっておりま  
す。上から、水色、濃い青色、黄色、赤色の雲がかかる感じでいかがでしょうか。時系列的に、ご説明して  
いきます。

当日は、昼頃から入場者を迎えるための準備をしておりました。夜間に来場者を迎えるわけですから、あれやこれやと準備を整えていたと



ころです。この時の雨は、

〴〵パラパラ

灯台に準備に行く前から雨が降ってきてしまいました。「いやいやいや。これくらいの雨なら危険ではないでしょう。滑らないようにしっかり注意喚起をしないこうではありませんか。」誰が言ったかは覚えていませんが、人は凄いです。中止になることは分かっていたのでしようがこういった時でも、前向きなろうとするもので、とにかく前に進もうとするのです。

そんなこんなで灯台に到着したところ、〴〵とよまの灯台倶楽部の部員は、福島県内外に拠点があり、郡山市から出席予定であった方は、郡山市方面での大雨に心折れ「こんな天気では、いわき市地方も大雨でしょうから、今日は欠席させていただきます(爆)。」とご連絡をいただきました。〴〵そりやそうだ。

いわきオーロラグループは豊間中央集会所でアマチュア無線対応しておりましたが、天気も悪くなり午後3時頃には、早々に片付け、灯台夜間ウォークに備えていただきました。しかし：そういう状況だということですよ。この時の雨は、

〴〵サー

灯台ナイトウォークを期待した一般の方が集まり始めました。天気が悪く、中止になるだろうと思いがちでも、河童を準備して両手を空けて、安全に配慮した格好で来場してくれています。来場者の皆さんは、どうやったら安全に上り下り出来るか承知されていることに驚きます。灯台を見たい〴〵灯台が好き〴〵灯台のイベントで怪我は絶対しない〴〵怪我があったら二度と開催してもらえない〴〵だから安全に上り下り出来るように備える：(涙) 皆さんを案内したい！午後5時頃になってきました!!この時の雨は、

〴〵ザーザー(涙)

あうとー。昔、年末の番組で、そのようなコールをする番組がありましたよね。

部長の涙のような雨になり、主催者側総意で中止を決定いたしました。しかしながら、集まっていたいた方は約40人という状況。このまま帰してしまうのは、心苦しいと思い、雨宿り出来ることから灯台を見上げての講話会を行いました。

灯台倶楽部からは、灯台の歴史や塩屋埼灯台の魅力について語っていただき、海上保安部からは、灯台というものを利用している〴〵船〴〵のこと、もう一つおまけに夏の水難事故を防ぐための話しをさせていただきました



写真5 中止を知らせる看板(涙)



写真6 灯台倶楽部の講話



写真7 濡れる次長(交通担当)

ました。雨に打たれながら熱く語りずぶ濡れる次長、2割増しで格好良かった(と思います)。

講話の始まりは、塩屋埼灯台の光源の説明で、フレネルレンズに、放電灯(メタルハライドランプ)という組み合わせとなり、この夕方の点灯始まり頃は、白く淡い緑色(通称「エメラルドグリーンタイム」と呼んでいます)の灯りが見られるということを伝えると、皆さんスマホを構えて点灯するのを待つわけです。こ

のランプ点灯直後の現象も、機械が新しいものへ更新されると、きつと見られなくなるものではあります、機械が更新されたらされたで、また新しい魅力が発見されることでしょう。

古きよきものとはよくいいますが、灯台は時代にあわせて進化して、深化する素晴らしいモノであると受け止めていきたいと思っています。そんな話しや現象に盛り上がりそろそろ解散となる時の雨は…

「おーっ」

最後到大雨!!  
ではなく、帰りの車の暖房の音です。この時期に車のエアコンを暖房にして、風量を最大とするとはいませんでした。エアコンって素晴らしいです。暑い時には体を冷やしてくれて、い

ま、濡れて冷えた体を温めてくれて、本当にエアコン  
つてありがたい！と思いました。

おお！その読者の方、平仮名だから大雨ではない  
と予想されていましたか？こういった小細工（工夫）  
が大好きな皆さんと楽しく、これからも長く活動して  
いければいいなというろと考えているところです。

また、性懲りもなく投稿させていただくので、よろ  
しく願います。

最後に、1日被り物をして行事を盛り上げて  
いただき、雨の中、来場者の車両を丁寧に誘導  
した「とよまの灯台倶楽部 部長」の雄姿を。。



写真8 とよまの灯台倶楽部は永遠不  
滅！また来年もやります！  
by部長



写真11 いたずら中の  
部長



写真9 カツオとうみま  
るとスタンプ



写真10 125周年記念スタンプ

## 余談

塩屋埼灯台125周年記念スタンプが、灯台参観受  
付窓口においてあります。ぜひ、ご来場のうえ、押し  
ていってください。

あと、「かつおのぼり」をこよなく愛する灯台倶楽  
部の部長がああ「燈の守り人」キャラクターパネルに  
いたずらをして「鯉の釣り人」と命名していました。  
オコラレマスヨ。



## 釜石保安部だより

釜石海上保安部

### 根浜海水浴場の安全祈願式

～三陸の豊かな海への

感謝と安全を祈願～

7月13日、岩手県釜石市の根浜海水浴場で安全祈願式が開催されました。

安全祈願式は、海水浴場の海開きに合わせて、釜石市観光物産協会が主催、釜石市長や釜石市議会議長などの他、釜石海上保安部から次長が出席、三陸の豊かな海への感謝と海の安全を祈願しました。

また、海水浴場の監視を担当する、ライフセービングクラブによる溺水者救助のデモンストレーションや、100名を超える子供らによる地引網体験も行われ、子供らの驚きや笑いの声が響きました。

東日本大震災以前は多くの海水浴客で賑わっていましたが、震災により多くの砂が失われ、海水浴ができない時期が続きました。

その後の復興事業で養浜工事が行われた結果、昨年は1万人以上が海水浴場を訪れるようになったそうです。

釜石海上保安部は、これから、夏のマリレジャーシーズンを迎える三陸で、人々が安全に安心してマリレジャーを楽しむように努めます。



安全祈願式



引網体験を楽しむ子供ら



溺水者救助のデモンストレーション



## 釜石海上保安部ラジオ工作教室を開催

～日頃の海上保安業務への  
ご理解とご協力に感謝を込めて～

釜石の皆様これまでの海上保安業務へのご理解とご協力に感謝を込めて、7月20日と21日、ラジオ工作教室を開催、釜石市内などの小中学生と保護者、合計39名が参加しました。

ラジオ工作で、海上保安業務でも使われている電波への興味をきっかけに、海上保安庁を少しでも知って関心を持ってもらい、将来大きくなり、故郷、三陸のきれいな海を守る海上保安官になってもえたら、私達はとても幸せです。

工作教室は、日本航路標識協会、日本無線(株)や(株)サンコーシヤのボランティアスタッフと海上保安部職員をサポートで行いました。

「電波とは何？」の解説、そして、ゴーグルや半田ゴテなどの安全具や工具の使い方の説明を行いました。

いよいよ工作開始、子供達はラジオキットを見て、



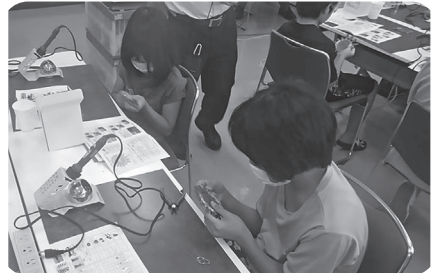
半田ゴテを使って部品の取り付け

「えー、ホントに作れる?」「難しそう!」の聲が上がりました。アンテナのコイル巻きや部品の半田付けを始めると、一転、工作教室は真剣な雰囲気になりました。

完成して、ラジオから音が聞こえると、満面の笑み、イヤホンを耳にあて、地元のFM放送など



水難事故防止のための安全教室



アンテナのコイル巻

を夢中で聞き入りました。

また、夏休みを前に、子供達の水難事故防止のための安全教室も開催、離岸流からの脱出方法や開設された海水浴場で泳ぐことなどを説明しました。

釜石海上保安部は、美しい青い空と海と緑の大地、自然豊かなこの三陸海岸で地域の皆様との絆を大切に、安全安心の確保に努めます。



完成したラジオと記念撮影 20日



完成したラジオと記念撮影 21日



# 関門港ボート天国『海上保安ブース展示』

門司海上保安部交通課

古賀

勇・豊

門司港の夏の風物詩、門司港ボート天国が今年も7月14日(日)に開催されました。このボート天国は、海の事故ゼロキャンペーン出動式や巡視艇、ヨットなどの一般公開のほか、SWIM&RUN大会など、多岐に渡るイベントが目白押しとなっています。

このイベントの一環として、交通課としても航路標識について広く知ってもらうため、色々と準備を開始しました。まずは設営にこだわり、重要文化財である『部埼灯台』『角島灯台』『六連灯台』の大型パネルで関心を引き、関門海峡海上交通センターのご協力を得てお借りした潮流信号所の模型やLED灯器の展示など、興味を引きそうなものを前面に並べることにしました。更に奥へと訪れた方には、3灯台のペーパークラフトなどを配布するほか、燈光会のご協力を得て購入した缶バッチを準備しました。ちなみにこの缶バッチは某官がデザインした力作で200個をイベントのために製作しました。

準備万端で当日を迎えましたが、豪雨で各イベントが軒並み中止となる中、缶バッチを作った某官の執念か、屋内でのイベントは予定通り開催されることになりました。

特に午前中は雨が激しく、来場者が少ないスロースタートとなりましたが、昼過ぎになると雨も落ち着き、来場者が増えはじめました。来場者の雰囲気は、普段何気なく見ていた灯台などの航路標識について、初め



写真1 缶バッチデザイン

て近くで見るLED灯器の光や、潮流信号所の模型の電光表示を前に「灯器の光ってこんな感じなんだ!」「潮流信号にはそういう意味があったんだ!」と、興味津々な感じでした。訪れた来場者から



写真2 来場者の雰囲気

は、「灯台ってたくさんあるんですね、こんど旅行に行くと立ち寄ってみるよ」など、灯台に興味を持ってもらい、大勢の方に航路標識について知ってもらう機会となり、大成功を収めることができました。  
 そして某官は、缶バッチの凄い人気に感激していました。  
 今後、多くの方に航路標識について知ってもらうため、イベントでの創意工夫に努力していきたいと思っています。

## 2024年 尻屋埼灯台・入道埼灯台の参観について

### 尻屋埼灯台

青  
森  
県



尻屋埼灯台、入道埼灯台の参観業務は、  
**11月10日（㊥）**までとなっております。  
 皆様のご訪問をお待ちしております！

燈光会尻屋埼支所 ☎ 0175-47-2889

燈光会入道埼支所 ☎ 090-1931-9706

燈光会事務局 ☎ 03-3501-1054

### 入道埼灯台

秋  
田  
県



最新の参観状況につきましては、当会HPを  
 ご覧下さい。

燈光会HP  
 QRコード



<https://www.tokokai.org>



# 150歳の節目の年を電波で国内外に広く発信!

大吠埼灯台点灯150周年記念アマチュア無線局運営委員会

明治初期に点灯を開始した著名な灯台が続々と150歳を迎えています。本年は、5月に御前埼灯台（静岡県御前崎市）が節目の日を迎え、さらに11月には、

大吠埼灯台（千葉県銚子市）も続こうとしています。

これまでも、全国各地の現存する明治初期の灯台では祝賀イベントが企画され、150年間現役であり続けてきたことの偉業が様々な手段、手法で広く発信されてきました。

さて、150歳を迎える大吠埼灯台の地元銚子市を中心にアマチュア無線の活動が続けているグループでは、日頃、自分たちが国内各地はもとより国外の無線愛好家とのコミュニケーションに用いている電波を使って、地元のシンボル灯台の偉業を広く伝えたいという意志のもと、地域の記念すべき出来事の周知事業に免許が与えられる「特別なマチュア無線局」の開設を計画しました。

4月初旬から手続きに着手し、多岐にわたる書類作成、関係先との調整を進めましたが、関東総合通信局から何度も修正指示を受け、粘り強く対応した結果、ようやく7月15日から11月30日まで

交信記録カードのイメージ（現在作成中）





無線局設置、通信状況

の期間限定の免許状を得ることができました。  
この無線局、いったい何が特別なのかをお伝えしますと、無線局に付与される名称が「8J1INUBO」とされています。

一見、数字とアルファベットの集合体にしか見えませんが、後半の5文字が「INUBO（いぬぼう）」となっていますので、通信中、相手側に特別な意味を持った無線局であることが自ずと伝わります。さらに、通信中で犬吠埼灯台を簡潔に紹介することで、遠方の相手の方に、犬吠埼先端に立つ雄大な灯台の姿、歴史、

役割、魅力などを連想していただけです。

7月15日（祝日・海の日）、犬吠埼灯台構内の一角に無線機器、アンテナ類を仮設、グループメンバーがマイクを握り第一声を発し遂に開

局となりました。

その後は、メンバー各位が、銚子市内又は国内の灯台発祥地の横浜市内から、適宜、通信を行っています。ある日、北茨城市の方から応答があり、その通信の中で「むかし自分は、船の通信士をやっていたが、犬吠埼灯台の光には大変お世話になった。そのことを伝えたくて応答した。灯台の150周年を心から祝福したい」との暖かいコメントをいただきました。

この周知活動は、無線通信という限られた手段と範囲ではありますが、通信の相手方へは、後日、交信記録カード（表面には、灯台やレンズの写真、裏面に犬吠埼灯台の紹介を記載）が届く仕組みにもなっています。

なお、毎月1回、灯台構内で通信を行い、その際、アマチュア無線免許をお持ちの方、アマチュア無線に興味を持ち将来免許を取る予定の方にもこの無線局の通信を体験していただくことができます。詳しいスケジュールは、銚子市ホームページのイベント紹介欄（本稿QRコード）よりご確認ください。



また、本稿をお読みのアマチュア無線愛好家の皆様には、是非、お空からの特別局にお声がけいただきたく宜しくお願い申し上げます。

明治の灯台の話 (74) -

## 江埼灯台 (後編)

灯台研究生

### 灯台設置の理由

慶応3年、幕府は欧米列強の圧力を受け、兵庫へ向う船の指標となる、明石海峡を臨む灯台の設置を取り決めました。明治に至り、明治政府は幕府の取り決めを引き継ぎ、外国人技術者を雇い、灯台の建設は燈台寮が担いました。燈台寮が作成した灯台建設記録集「諸表成功録」(国立国会図書館蔵)には、明石海峡を臨む江埼の地に灯台を設置した理由が次のとおり見られます。

江寄ハ 淡路国津名郡字小磯山ト云 名東県所轄ナリ 此近海船客屢次困難シ 傾覆帆沉渺シトセズ 其故ハ 西ニ暗礁岩石アリ 東ニ浅洲急瀬アリテ 危険ニ陥リ易シ 是ヲ以テ 大小諸船 黄昏ニ及ンデ 神戸兵庫等ヨリ航運スル難ク 又西ヨリ来ルモ 両港

ニ入ル事ヲ得ズシテ 共ニ空ク天明ヲ待ツニ至ル 日ヲ期シタル郵船ノ如キ 尤モ患ル所ナリ 仍テ 標燈ヲ設ケ 彼岩礁洲瀬ヲ照シ 且ツ明石ニ導キ 和田岬等ヲ知シムベキ必要所ト謂ベシ

\*名東県…明治4(9)年まで徳島県(阿波国)に置かれた県。阿波国、淡路国、讃岐国(香川県)を管轄。

### (愚訳)

江埼は、淡路国の津名郡字小磯山という地にあり、名東県の所轄になります。この近海は、船がしばしば遭難し、転覆沈没する船が少なくありません。その原因は、西に暗礁帯があり、東に急流の浅瀬があるため、危険に陥りやすく、このため大小の船舶は、夕暮になると、神戸兵庫等からの出航ができず、また西から来る船も両港への入港が困難で、共に夜が明けるのを待つことになっています。時刻を定める郵船のような船は、もつとも難渋しています。このため灯台を設け、この岩礁洲や急流浅瀬を照らし、明石の航路筋へ船を導き、神戸兵庫の指標の和田岬へ向かわせる灯台の必要な場所と言えます。

明治10年代の淡路島近海の海図(図1)には、江埼

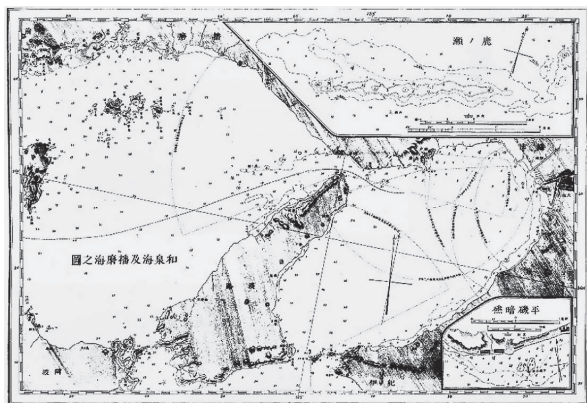


図1 和泉海及播磨海之図  
(平磯礁標設置の記録資料に添付の図)

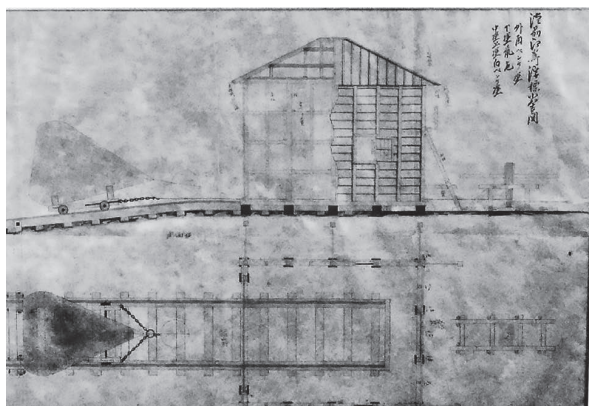


図2 淡路江崎浮標小舎図  
(国立公文書館蔵)

の西に位置する鹿ノ瀬と東にある平磯暗礁の図が、大枠で拡大されています。江崎灯台の設置理由に記された西の暗礁帯と東の急流浅瀬は、この両所と考えられます。江崎灯台には、明石海峡のみならず、この両所まで照らす使命を帯びていたことが、瀬戸内海では異例の一等灯台であった理由のひとつに考えられます。そして両所には江崎灯台管理の浮標が、平磯には明

治8年12月、鹿ノ瀬には明治9年2月の明治初頭の同じ時期に設置されています。江崎灯台下には、同9年3月に浮標の予備を保管する倉庫が配備されました(図2参照)。

鹿ノ瀬の浮標は大正4年に灯浮標に変更され、江崎灯台職員の苦勞の種であった事実が、燈光大正5年11月号の「隠れたる燈台の困難」と題した江崎灯台職員の記事に次のとおり見られます。

此の鹿ノ瀬浮標は、本臺の西南約十海里の沖合、播磨と淡路の中央に碇置されてあつて、浮標から播磨地の方は頗る付きの浅瀬である。従つて常に大小の波が絶えたことはなく、一朝西又は北の疾風でも吹かふものなら、忽ち狂瀾となり怒濤と変じ、海上の悪化は極めて迅速である、併これらは、多く冬季(夏季には南の突風あり)に起る現象



で、其の日の気圧や雲行、又は波の具合等を十分に注意してかかつて、時々海神の怒に触る事は免れないのである。僕なども茲三ヶ年の間に、既に三回の危険に遭遇して居る。少し位の波や風は平氣の平左で、僕も五十嵐氏も海には割合強い方である。先ず一回目は檜山氏と在勤当時、旧浮標交換の際で、工事も約九分通りの進行を見るに至って西の突風となつた。けれども交換工事のこととて其の儘仕事を継続し、全く之を了した時は、西北西の強風となり、海上は猛獅の荒れ狂うが如き、凄然たる光景を現出した。交換船は木の葉の如くに翻弄せられ、然るに避難せんにも播磨地へ四里、淡路地へ三里の遠距離であるから如何とも致し方がない。止むを得ず舟と舟を全部繋留して、只管天候の回復を待ち、翌朝漸く此の夢心地から脱する事が出来た。

次は本年の一月、恒例の整理を了へて歸臺の途中、浮標を距る約二海里の處に、俄然西の強風に襲はれた。海上は見る見る凄まじき光景となり、寄せくる怒濤は幾度か小舟を呑まんとした。陸地へ寄するも避難場所なく、却つて波の高さは増すばかりで、已むなく沖合を、全員必死に適応の努力をなし、辛くも進行を続けて居る内、幸い風力も漸次弱まり、無事帰着すること

が出来た。こんな工合に、鹿の瀬の出張は相當注意を要するのみならず、亦常に潮流の關係も考へねばならぬ。総じて播磨灘は潮流が頗る烈しい、現場渡航も、適當な日時を擇むに非ざれば中々困難で、拙な遣り方をしては、好潮の変更を待つ為に三時間乃至四時間の立往生を喰わねばならぬ。これが以前の無燈浮標で、月一回の見廻りだけで済むものなら格別の心配は無いが、挂燈浮標は十五日毎の見廻りに、瓦斯充実、レンズ磨拭、火口の手入と夫々の整理に若干時間を要するので、自然相當苦心も拂わなければならぬ。殊に此の浮標上作業に於ける苦心は別段で、作業器具の如き、一手を誤れば忽ち海中墜落となり、手続書の提出は成績の下降に變ずるので、吾々看守員の隠れたる心労は実に少なからざるものである。

当時、灯浮標はまだ珍しく、天候に大きく左右され生命の危険を伴う灯浮標の保守管理が、江崎灯台の知られざる困難として、燈光を介して全国の灯台職員へ紹介されていたようです。

#### 灯台の石材

諸表成功録には、灯台建設の概要も次のとおり見ら

れます。

明治三年庚午四月十五日創業 山腹ノ樹ヲ倒シ 石  
ヲ搬シ 一丈餘ノ高サヲ開拓低夷シテ 東西十間南北  
二十五間ヲ得ル 即チ卑高合テ平面四百坪ナリ 又海  
岸ヨリ山腹ニ迄リ攀路ヲ闢キ通スル長サ七十四間 廣



図3 家島諸島の位置図  
(国立公文書館蔵)

サ二間 此路ニ倚テ諸材ヲ運輸シ 管建ニ充ル 石材  
ハ悉皆 播州家島産ヲ用ヒ 仝四年辛未四月二十七日  
落成ス

(愚訳)

明治3年4月15日に工事を開始。山腹の樹木を切り  
倒し、約3メートル余の高さを低く削り、東西約18メ  
ートル、南北約46メートルの敷地を得る。その結果、  
低地と高地を合わせて平面400坪となる。また海岸  
から山腹まで繁路を切り開き、全長約135メートル、  
幅約3・6メートルのこの路を介して、建築の諸材料  
を運び入れ、灯台建設に充てた。石材はすべて播磨(兵  
庫県南部)の家島産を用いた。明治4年4月27日に落  
成。

江崎灯台の石材は、灯台から西に約40キロメートル  
にある家島諸島から運び込まれたものでした。家島諸  
島は、家島本島、西島、男鹿島などを中心にして大小26余  
の島から成り立っています。採石は古くから男鹿島と  
西島で行われ、近年は大阪湾の護岸工事の基礎石の9  
割をこの島々から産出したといわれ、関西国際空港や  
神戸六甲アイランドの埋立てにも大量の石材を搬出し  
ています。



図4 江埼灯台と日時計  
(平成25年5月撮影)

現在、江埼灯台は全体を白色に塗られ、石材の色や特徴は確認できません。しかし、日時計の台座(図4)の石材は、家島御影の特徴にある淡紅色正長石を含む角閃石黒雲母花崗岩のように見受けられます。

石材の事典(2009年4月30日朝倉書店発行)には、家島産の石材が次のとおり見られます。

い え し ま い し (家島石) 家島諸島のうち男鹿島および西島 この地域で採石される石の総称。花崗岩系と安山岩系がある。男鹿島の花崗岩は茶系、硬くねばりがある。土木用(護岸、埋立用捨石)

い え し ま み か げ (家島御影) 姫路市旧飾磨郡家島町・男鹿島 角閃石黒雲母花崗岩、淡紅色正長石を含み、粗粒で多少空隙がある。

この江埼灯台の石を求めて、令和3年の夏、岡山県家島諸島の男鹿島を訪ねました。姫路港から定期船で約30分の男鹿島は、島民はわずかで、近づくにつれ採石場の島とはつきり分かる樹木の緑がまばらな岩肌ばかりが目立つ、明らかに他の島とは異なる姿を呈していました。コロナ禍の船内は、街の人混みを避け田舎でアウトドアを楽しむ人々で予想外の人出でした。男鹿島到着後、人混みとは反対方向の石切り場方面へ向かいました。石切り場は立ち入り禁止となっていました。海岸には図5のように切り出された無数の赤茶けた花崗岩の巨岩がいくつも折り重なっていました。

船の乗り合わせで島にはわずか一時間半の滞在でしたが、男鹿島の花崗岩の特徴を十分に確認できました。この時はまだ、江埼灯台の石材がこれと同質の花崗岩とは確認できておらず、これが江埼まで本当に運ばれ

ていたのか半信半疑でしたが、帰宅後、江埼灯台の日時計の石材が、島で見えて来た花崗岩と全く同質であることを確信し、当時島から切り出され、船で江埼まで運ばれていく風景が目に浮かぶようでした。

### 江埼灯台での生活

どこの灯台でも雨水を利用するなど水の確保が困難



図5 男鹿島の海岸の花崗岩  
(令和3年7月撮影)



図6 塗色前の明治中期の江埼灯台  
(当時の絵葉書より)

な状況の中、江埼灯台は噴水まで設けられていた水が豊富な稀有な灯台でした。太平洋戦争後の物不足が続く昭和28年からの3年間、江埼灯台で暮した清水節代様の回想記が、燈光平成12年1月号に掲載されています。水に恵まれた江埼灯台での家族睦まじい幸せな日々が次のとおり記されています。

江埼灯台は、岩屋より四km。うつ蒼と繁る松並木の中に、二百段の石段に驚き、やっと登りついた正門に、水がドンドンとふき流れ又々、驚きの連発。江埼灯台は明治四年イギリス人の設計にて建てられた灯台と官舎、裏の山より十カ所もの「サイホン」で水を引き、一年中休みなく美しい山の水が流れ出していたのです。神戸が断水しても、灯台の水は止らず、美味しい水を見学の人達は皆持つて帰りました。

灯台長夫婦はもうご年配で、私達夫婦、赤ちゃんを、とてもとても可愛がって下さって、長男は灯台の皆





図7 江崎灯台での清水様家族（右側前方の四名）  
（清水節代様提供写真）



図8 江崎灯台の石造官舎と倉庫  
（清水節代様提供写真）

んなの「マスコット」だと云って大事にしてもらいました。

山には、うぐいすが鳴き、山桜が満開、黄色い山吹の花が、ビワ山に咲き、池の噴水、泳ぎ廻る大きい「ひごい」、奥様のお心尽くしの御馳走。白い「イカナゴ」の美味しかったこと。海を行き交う大小の船、真白の灯台、海の向こうに見える「明石城」須磨、舞子、ま

さに一幅の絵になりそうな、すばらしい眺めの、山の灯台。官舎は立派な、石づくりで、部屋には「マントルピース」があり、上下に開ける出窓。裏山へ「ワラビ」「ゼンマイ」「ツワブキ」を採りに行き、真黄色に熟した「山イチゴ」を見つけたあの嬉しさ。「ビワ」に袋をかぶせ、毎年六月中旬、毎日毎日大きい甘い実を、お腹いっぱい食べることが出来た。

岩屋の町まで4km行かなくては、「トーフ」も「アゲ」も「お菓子」もない二百段石段の山の上の白い灯台。「犬もどり」岬とも云われる岬の風は強く寒い。新聞を石段下まで毎朝取りに行った時、主人は海で「ベラ」を釣り、子供に食べさせ、段々畑では、豆も、ホウレン草も作れた。

昭和三十年七月二十八日、次男も生れ、すばら

しい景色の山の上の灯台で静かに、すくすくと子供達  
は成長しました。

でも主人の見回りの留守に限って、子供が『ヒキツ  
ケ』をおこし、二百段の石段と、町まで4kmの田舎道  
では、なかなかお医者さんにもすぐには来ていただけ  
ず、只おろおろしたことが、何度あったか知れません。

幼児期を、この瀬戸内海の日本一空気の良い灯台で  
大きくなった長男。広い構内を三輪車で走ったり、別  
府航路の白い船に、小さい手を振って、一人で遊んだ  
長男寛二は、今東京千駄ヶ谷の国立能楽堂で、観世流  
お能の『シテ』を舞う能楽師。灯台の構内で、羽衣を  
襦はされる枝ぶりの松の前で、お弁当や、お茶の時、  
明石、須磨、舞子を見ながら親子で浴衣姿の夕涼みな  
どの、この自然の中でのすばらしい灯台での幼い日の  
静かな生活が、『面』をつけた長男の心の原点になっ  
ているとか、いつか能の雑誌のコラムに書いておりま  
した。

こんな四十七年も前の私の灯台のなつかしい想い  
出。十年前に、主人の車で江崎灯台をたずねた時は、  
あの緑の松並木は大半枯れ、二百段の石段も痛み、山  
からの取り水は止り、美しかった構内は汚れ、毎日大

勢来た見学の人達が、窓から私達の花一輪の部屋を見  
て、「都会なら、部長さんの住む家だ」とうらやまれ  
た私達の住んだ石の官舎も、もう住む人もなく荒れ果  
てておりました。

そして、その上先年の阪神淡路の大震災の震源地が、  
灯台の下野島だど知り、本当に大きいショック  
と悲しみました。

昨年別府に住む姪に招かれ、年老いた姉妹三人で別  
府航路の「サンフラワー」で大阪を出発。神戸を過ぎ、  
淡路島の江崎灯台の百年余りも、かわりなく、明るく、  
美しく、照らす灯台の光りを、船から眺め、瞬間胸い  
っぱいに、走馬灯のように過ぎし日の想い出がなつか  
しくよみがえって、姉達と手を取り合って、嬉し、な  
つかし涙がこみあげました。

令和の現在、江崎灯台は清水様ご家族が暮らした石  
造の官舎をはじめ建物は何もなく、金網越しの灯台が  
ボツンと立つのみで、往時の面影は全くありません。  
職員、家族らが居た頃の江崎灯台とは全く違う灯台の  
ようです。

今回、拙稿に使用した清水様ご提供の写真は、令和  
2年に清水様が現在江崎灯台を管理する神戸海上保安

部交通課に寄贈されたものです。愚生は当時、交通課長であつた狩野宏様から提供いただいたっており、今回、拙稿をまとめるに当たり、清水様に直接お話を伺いたく、連絡先を狩野様へ確認したところ、その後毎年出していた時候の挨拶が宛先不明で返信されているとのことでした。

清水様の回想記に出てくる国立能楽堂の清水寛二様へ、清水節代様との連絡と拙稿への写真の掲載許可を書面にてお送りしたところ、節代様は令和4年に亡くなられていたことをご連絡いただきました。寛二様は、今も能楽堂で能の舞台を続けら



図9 四国村の江崎灯台官舎（最前）  
（令和元年5月撮影）

れており、かすかな記憶の中に江崎灯台眼下の風景や父に見廻りのジープに乗せて連れていってもらったことなどが思い出されると、物腰の柔らかいお言葉で話していただきました。

令和元年の春、愚生は江崎灯台の石造の官舎を訪ねています。石造官舎は、平成5年に香川県の四国村に譲渡移設され、現在、同村にて保管展示され、マントルピースのある室内まで見る事が出来ます。愚生が訪れた際は、図9のように官舎は美しく咲き誇る花々に見守られ、まるで余生を天国で過ごしているかのようでした。

そして令和4年2月、江崎灯台は歴史ある灯台として重要文化財に指定されました。

江崎灯台は、今は往時とは異なる印象に変わり果ててしまいましたが、灯台も官舎も往時の記憶とともに後世永く残されていくことを願ってやまない今日この頃です。

本稿作成に当たり、ご援助いただきました、岡田晃慈様、狩野宏様に対しまして、この場を借りて深謝いたします。

（明治の灯台の話 74 江崎灯台（後編））

# 9時ちょうどの「あずさ9号」で こうして私は一土施管士になりました

普通会員 松永 秀雄



この稿を執筆しているのが、令和6年6月ですので、ちょうど2年前の頃からの話をしましょう。

## 【再就職への道】

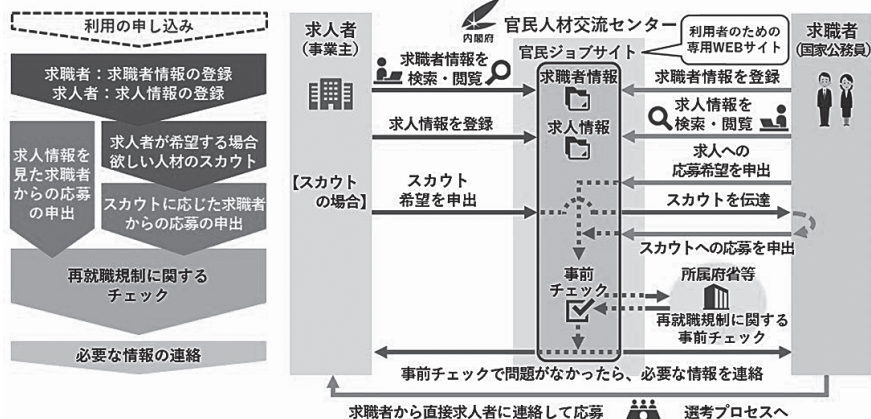
その頃私は、来島マーチスで定年前最後の年を勤めていました。マーチスの整備課長から身上調査の提出スケジュールのメールが届き、「所長の調査の所属長所見は本部長に記入してもらいますので、一足早く本部に提出して下さい。」との案内があり、提出を急がされていました。それまで、定年退職者の身上調査なんかどうでもいいんじゃないかと考えていましたが、いざ、自分が書くこととなって、大事な項目があることに気が付きました。それは、再任用を希望するか退職するかという選択です。一応、前年度に再任用の希望調査が行われているのですが、その時点では最初のグー的な調査で、正式には身上調査がファイナルアンサーとなるのです。ただ、現在もそうでしょうけれど

交通部は慢性的な欠員状態が続いていましたので、年末の頃でも急遽再任用希望に変更しても、どこかの隙間に滑り込むことはできそうな雰囲気がありました。ずるい私は、それを滑り止めにして、最終結論を先送りすることとし、一応、再就職の進路を選択して調査を提出しました。逆に再任用希望としておいて急遽退職に変更すると、人事担当者に色々とご迷惑をかけてしまいますからね。

さて、再就職の進路としたのは良いのですが、現在の国家公務員には天下の「再就職規制」というのがあり、現職中の求職活動は色々と制限されています。数年前にある先輩から、官民人材交流センターというのがあるよと教えていただきました。官民人材交流センターというのは、内閣府が運営しているいわゆる公務員のためのハローワークです。このセンターを経由して求職活動する分には、規制を受けず、現職中でも堂々で行うことができます。このセンターが立



ち上げているサイトに「官民ジョブサイト」というのがあり、求職者と求人者との間を取り持つマッチングアプリのようなものです。再就職の求職活動はとても厳しいものと聞き及んでいましたので、先ずは官民ジョブサイトを覗いてみることにし、管区本部の人事課を経由して求職者の登録申し込みを行います。



出典：内閣府ホームページ (<https://www8.cao.go.jp/jinzai/kyuzin.html>)

と月ほど経った頃に、官民人材交流センターからログインIDの通知がありました。申し込んでいたことすら忘れていた頃でした。どうも官民人材交流センターの登録担当者は少なく、コロナ禍で在宅勤務で登録作業を行っていたようです。当該サイトにログインして最初に行うのが求職者の登録です。自分の経歴、保有資格、希望業種、希望収入額、希望勤務地として一番大事な自己PRを入力します。この自己PRの記入には、昔受けた人事院の生涯設計セミナーの中で教わった再就職のための自己PRのテクニックが役に立ちました。とにかく自分の強みや再就職に対する意気込みを「これでもか」と言うぐらい積極的にアピールしなさいという内容だったと記憶しています。さて、求職者情報が登録されると初めて求人者の情報を閲覧できるようにになります。結構色々な企業等が求人者として登録しています。公益法人をはじめとする各種の非営利法人、大学等の教育機関、税理士等の士業事務所、その他各種営利企業がエントリしています。求職者はその一覧をみて希望の会社に手を上げることができます。また、求人側も求職者の一覧（個人情報以外）が見られるようで、経歴や自己PRを見てスカウトすることもできるシステムです。求人者は月日とともに

新規登録もあれば、消えていくものもあります。消えていった求人者はうまくマッチングしたんでしょう。

一方、登録日が古い求人者はあまり人気がないのだから、登壇しながら定期的にサイトを除いていました。

サイトを覗いていて気が付いたのは、税理士や公認会計士を求める企業が多くしかも高給処遇でした。これなら税務署職員は再就職には困らないと感じた次第です。高校や大学進学で志望校を選ぶ際に、卒業後の就職実績を参考にすることがあるようですが、公務員に就職する際に、省庁別再就職実績というデータがもしあれば、税務志望が一気に高まるかもしれません。海保関係では、唯一某地方海防団体が登録されていましたが、海技士資格保有が条件とされており、灯台系職員は排除されてしまうこととなり残念でした。官民人材交流センターからは定期的に新規登録求人者リストがメールで届きますので、「どれどれ」とサイトを覗くようにしていましたが、なかなか、希望に合う求人はありません。

そうこうしているうちに、十二月になり、そろそろ再任用を申し込もうかなと思っていたときに、官民人材交流センターから一通のメールが届き、「光商産業（株）」という会社からスカウトの申し出がありました。

これに應じるかどうか2日以内に回答願いますとのことでした。「えっ、スカウト！。まじっ！」もうビックリです。生涯設計セミナーのおかげかなと思いがら、光商産業という会社は聞いたことがないネット上で検索してみると、千葉県木更津市で東京湾のブイ整備・全交換をやっている会社とのこと。「おっ、これは灯台部業務ではないか！」。私の経歴を見て見つけてくれたのかなと思いがら、「ありがたいやありがたや」と手を擦り合わせた次第です。早速、かみさんと家族会議を開き、かみさんの「やりたい仕事が一番いいじゃない！」の一言が決め手となり、このスカウトに応じることにしました。

官民人材交流センターにスカウトに應じる旨返信すると、官民人材交流センターから本庁人事課に通知され利害関係調査が始まります。2週間ほど経過すると官民人材交流センターから、「利害関係チェックの結果利害関係がない旨確認されました。つきましては、先方の応募受付担当者を連絡します。〇〇〇〇です。なお、先方には松永様の氏名を伝えています。どうぞ交渉を進めてください。」とのメールが届きました。すなわち、この時点で初めて「せえのの、ごたゝいめーん！」となるのです。早速先方に電話連絡したと

ころ、「本来なら面接をするところ、コロナ禍のため、電話面接とさせていただきます。ついでにはそれに先立ち履歴書を送付していただきたい。」とのことでした。メールで履歴書を送り、電話面接を昼休みの時間帯に設定してもらい、ドキドキの電話面接を受けました。面接では、事業概要、担当業務等の説明を受け、報酬については再任用と同等程度を確認し、それらの条件で良いかとの確認があり、支障ない旨回答したところ、その場で内定を頂きました。意外とあっさり決まってしまう、少し拍子抜けしてしまいましたが、本部人事課に内定の届けを提出し、求職活動が終了しました。これが一月中旬のことです。

## 【一土施工士への道】

内定後、光商産業からは色々な情報が届きましたが、2月のある日、社長から、「松永さんは、一応「管理部長」となっていたんだけど、小さい会社なので、現場にも出て行ってもらわなくてはならない。全交換作業は海洋土木工事となるので、監理技術者、主任技術者が必要となる。ついては、「一級土木施工管理技士」を取得していただきたい。早速来年度の試験の申し込みが迫っているので申請しておいて欲しい。」とのこ

とでした。昔の燈光の名簿の資格欄に記載されていた「一土施工士」というやつですね。まだ内定の段階で取り消される可能性もありますので、断るという選択肢はありません。「はい。わかりました。頑張ります。」と応えざるを得ないわけです。社長にうまくしてやられた感がありましたが、DIY好きの自分でも興味のある分野でしたので「よし、やってやろう。」という気になりました。

早速、土施工士について調べますと、区分は一級と二級の二区分、試験はどちらも一次と二次の二回に分けて実施、一発合格率は一級が約十五%、二級が約二十五%ということでした。「うん？合格率十五%！超難関試験ではないか！」。正直言って、昔の燈光の名簿を見ていたときは、本部の工務課や電波標識課の方々が取得していた資格で、建築士資格よりも多くの方が取得されていたようでしたので、こんなに難関資格だとは思っていませんでした。私の認識違いでした。すみません。還暦を過ぎて取れる資格なのか自信が揺らぎましたが、やると言った以上はやるしかありません。試験スケジュールを確認して、必要書類を取り揃え、三月中の締め切りに間に合わせて申し込みました。念のため一級と二級を併願しておきました。

一次試験は、二級が六月四日、一級が七月二日です。私は三月末に退職し、再就職は六月一日でした。退職後の四月中旬に千葉県に引っ越して来て、それから六月までは浪人生活でしたので、その間に本格的に勉強を始めました。二級の一次試験までひと月半でした。会社から送ってもらったテキストと過去問集でひたすら勉強です。

ここで、一級土木施工管理士の試験の概要を説明しましょう。一次試験は、午前の部が二時間半、午後の部が二時間の合計四時間半の一日で終わります。問題は必須問題三十五問、選択問題六十一問中三十問、合わせて六十五問を回答します。合格ラインは六十%です。ので、三十九問正解すれば合格です。ただし、午後の部の応用能力問題は十五問中六十%の九問の正解が必須となっています。問題は全て四肢択一形式でマークシート回答です。出題範囲は次のとおりです

| 項目       |     | 出題数 | 選択数 |
|----------|-----|-----|-----|
| 午前中（問題A） |     |     |     |
| 土木一般     | 十五  |     | 十二  |
| 専門土木     | 三十四 |     | 十   |
| 法規       | 十二  |     | 八   |

|             |    |  |    |
|-------------|----|--|----|
| 午後（問題B）     |    |  |    |
| 共通工学        | 四  |  | 必須 |
| 施工管理        | 十六 |  | 必須 |
| 施工管理法（応用能力） | 十五 |  | 必須 |

問題Aの土木一般とは、「土を掘り、基礎を固めてコンクリート構造物を施工する」という土木施工の基本である土工、コンクリート工及び基礎工から出題されます。専門土木は、道路、鉄道、橋梁、トンネル、河川、海岸、港湾など土木には様々な種類があり、それぞれに専門知識も異なりますので、受験者の専門分野を答えられるよう幅広い選択権が与えられています。法規は土木技術者が備えておくべき法令上の知識を試すもので、労働基準法をはじめ様々な法令から出題され、港則法も含まれています。残念ながら航路標識法は対象外でした(笑)。問題Bの共通工学では、公共工事標準請負契約約款やGPS測量などが出題されます。そして、施工管理及び施工管理法（応用能力）が本試験のメインとなる分野で、施工計画、工程管理、安全管理及び品質管理が問われます。出題比率が高く配点が高い部分です。

これらを勉強していると、「えっ、そうだったのか!」



と、今まで勘違いしていたことや新しい発見があり、だんだん楽しくなってきました。例えば基本的なことですが、私は趣味で陶芸をしており、焼き物は柔らかい粘土で形成して素焼きをするまでに乾燥させて固めるのですが、私はてっきりコンクリートも水で練っている、乾燥で固まるものとはびっくりこれまで思っていたので、実は、水和反応（水との化学反応）で固まるため、乾燥はもつてのほかで、夏場は乾燥しないように湿潤養生を行うということを知り、全く真逆の知識だったことに参った次第でした。

そんなこんなで浪人時代のひと月半で老体に鞭を打って土木の基礎編を身に付け、六月四日に力試しとして二級の一次試験に挑みました。試験会場は拓殖大学で、会場入り口で建築系専門学校のスタッフが配布していた当日発表する回答速報のサイト案内をしっかりと受け取り、会場に入りました。二級の問題は、やはり一級と比較すると入門編というレベルに感じられ、私には丁度いい感じでした。試験時間も午前中の約二時間のみであり一級の半分分量です。無事試験を終え、帰宅して例の専門学校の回答速報をチェックして自己採点すると、…合格点でした。「よっしゃ！この調子や」と少し自信が付きました。

一級の一次試験まで残すところひと月です。過去問を解いてみますが、二級とは違ってまだまだ知識不足です。引き続き老体ムチで頑張りますが、六月から再就職しましたので仕事があります。なにしろ初めての民間の業務ですので、公務員の仕事とはちよっと異なります。覚えることが一杯だし、浮標基地での作業も始まり帰宅するとクタクタです。とてもじゃありませんが、帰宅後の勉強は老体には無理です。そこで、朝、早めに起床し、早朝トレーニングで頑張りました。これが、慣れてくると非常に効率がいいのです。起床後の頭は、以外と冴えているのです。徐々に過去問も合格点近くとれるようになってきました。先に述べましたが、一次試験は四択のマークシートです。四択も、次のうち正しい（誤っている）のはどれか」というパターンですので、完全に覚えていなくても、最も正しい（誤っている）らしい答えを選べばよいので、比較的正答率は高まります。また、選択問題では、自信のある問いから答えていけばいいので、全てを正解しなくても良いというところがありがたかったです。

このひと月もあつという間に過ぎ、いよいよ一級の一次試験の日がやってきました。試験会場は学習院大学です。試験会場の席に座って、「ひょっとして陛下

がこの席に座っていたのかも。」とか思いながら勝手にドキドキしていました。幸せなやつです。コロナは五類に移行していましたが、試験会場はコロナ対策として窓開け換気が行われており、七月の外気が入り込み、冷房の効きはよくありませんでした。少し蒸し暑かったですが、試験が始まり集中すると気にならなくなりました。今回の試験から、過去問にはなかった新しい出題方式が現れました。施工管理法（応用能力）の必須問題で、四択ではあるのですが、「次のうち正しい（誤っている）のはいくつあるか？」として正答肢に「一つ、二つ、三つ、四つ」となっている択一問題でした。これは、先ほどの最も怪しいのを選ぶとい



思わず門を撮影

うテクニックが通用しません。四つの問題文とも正しいか誤りかを判定しなければなりません。難易度が高くなっていました。なんとか時間内に全て回答し、ほっとしながら、例の専門学校の回答速報サイト案内のチラシを握りしめて帰宅しました。帰宅後、自己採点の結果、合格点でした。「オー！」と雄たけびを上げると、かみさんが「おめでとうでいいの？」と飛んできて喜びを分かち合いました。その日はシャンパンで乾杯でした。

二次試験は十月一日です。それまで三カ月あります。本当は継続して直ぐに勉強を始めると良いのでしょうけれど、さすがに、一息つきたいという気持ちで勝利、ひと月はお休みすることにしました。

二次試験は記述式になります。マークシートではありません。解答を文章で簡潔明瞭にまとめる力が求められます。誤字脱字も減点となるようで、PC入力に慣れてしまつて漢字が書けなくなつてしまつている自分には、漢字ドリルから始めなくてはいいけません。

問題数は必須問題が三問、四問中二問解答する選択問題が二組です。

必須問題のうちの一問が、経験記述問題です。簡単に言うレポート作成です。配点は四十点。過去に経

験した土木工事の現場状況から特に留意した出題テーマに関して、技術的課題、検討した内容、対応処置と評価について八百字程度で記述するものです。出題テーマは過去十年では「品質管理」と「安全管理」に絞られています。丁度、六月に船舶衝突された浮体式灯標の上部構造物を洋上交換する工事に工事主任の一人として経験させていただきましたので、その時の様子を「品質管理」については、灯標の位置及び高さの精度の確保を、「安全管理」については、工事に伴う周辺航行船舶の安全確保をそれぞれ論点にしてまとめ、



浮体式灯標の上部構造物交換工事

目をつむってでもすらすら書けるようになるまで、ただひたすらノートに書いて書いて書きまくりました。

他の問題は、六問で配点は六十点。一問十点です。

出題範囲は一次試験と同じですが、記述式の解答となります。虫食い式の穴埋め問題や、「○○に関する施工上の留意点を五つ述べよ」と言うような出題形式となり、一次試験のときのような最も正しい（誤っていない）らしいのを選ぶという方式は通用しません。ほとんど過去問から出題されますが、虫食い方式は同じ問題文でも虫食い箇所が毎回異なり、解答文を完璧に覚えていないと答えられません。とにかく、過去問を徹底的に暗記するしかありません。昔の記述式時代の二陸技、一陸技の勉強法と同じです。書いて書いて覚えていくのです。保安学校時代の同期生に二陸技の一回の受験でボールペンを一ダース使い切ったという強者がいたのを思い出しました。

八月、九月の二か月間、毎日帰宅後は二十時まで勉強し、夕食後は早めに就寝し、四時起きで早朝トレーニングで頑張りました。専門学校の模擬試験を受験してみると、ギリギリのラインで、ちょっとやばいかなというところでしたが、試験日が近づいており余裕がありません。そこで、二陸技、一陸技のときと同じよ

うに過去問にヤマを張り、張ったヤマは完璧に解答できるようにしておきました。

いよいよ二次試験の当日がやってきました。試験会場は、一次と同じく学習院大学です。会場の雰囲気は慣れていますので問題ありません。試験時間は午後二時間四十五分間です。問題用紙が配布され、開始合図で問題をパラパラとめくりましたが、ヤマの問題は見当たりませんでした。「はあー」これまた二陸技、一陸技のときと同じです。なんとヤマ張りのへたくそな事か。「しょうがない」と気を取り直して、経験記述から解答します。テーマは「品質管理」でした。トレーニングしてきた内容を完璧に記述し、他の問いに移ります。なんとか時間内に全問解答して終了しました。

記述式のためか、専門学校の二次試験の解答速報は、数日後でした。アップされた解答試案で答え合わせすると、経験記述以外で四十三点でした。六十点で合格ですので、経験記述で十七点あれば合格のようです。経験記述の採点がさっぱり分かりませんが、半分で二十点ですので、なんとかいけるのではないかと淡い期待を持ちながら一月の発表を待つことにしました。

二次試験から三カ月以上過ぎた一月に試験機関のサ

イトで合格発表です。覗くと私の受験番号がありました。やりました。一発合格です。還暦過ぎでの猛勉強は結果が付いてきました。やればできるのですね。

### 【あずさ9号】

私の合格を知ったあるお方から、「燈光会の奨励金ほもらった？」と言われました。「いやいや、あれは現役だけじゃないですか？」と答えると、「規則では「普通会員」ってなっているから現役も退職者も関係ないんじゃない？燈光会に訊いてみたら？」となり、燈光会の事務局に退職者も対象になっているかどうかだけを電話で尋ねたところ、「今答えられる人がいないので、調べて後日解答します。」との解答でした。それから数日後、事務局からメールで申請用紙が届き、これで申請して下さいとの由。いやいや、退職者も対象かどうかだけ訊いただけで申請する意思はなかったのですが、申請して下さいと言われれば「しょうがないな(笑)」と、ありがたく頂くことにしました。

受験勉強中はかみさんをどこにも連れて行かれないので、「奨励金でどこかに行こう！どこに行きたい？」と尋ねたところ、「うーん」としばらく考えて「長野においしいお蕎麦を食べに行こう！」



六月のある週末の朝、新宿駅の十番ホームから、九時ちよどの♪「あずさ9号」で♪信濃路へ旅立ちました。

### 【現役の皆様へ】

土木施工管理技士の試験は、今年度から制度が変わっています。昨年度までは一級の受験には実務経験が必要でしたが、今年から、二級は十七歳以上、一級は十九歳以上なら実務経験なしで一次試験を受験できるようになったようです。還暦じいさんでも大丈夫でしたので。興味がおありの方は、受験してみてはいかがでしょうか。再就職の際は、一陸技、二陸技よりかは役に立つような気がします。（個人の感想です。）



あずさ9号と筆者

昭和三十一年  
九月二十五日  
第三種郵便物認可  
(隔月一回五日発行)

「燈光」

九月号  
第六十九卷  
第五号

